

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ITホールディングス株式会社
 コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 岡本 晋
 (氏名) 浦田 幸夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-6738-7557
 平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	146,954	△10.1	5,805	△38.2	5,792	△38.9	3,207	△28.6
21年3月期第2四半期	163,426	—	9,400	—	9,479	—	4,491	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	37.60	—
21年3月期第2四半期	52.97	52.94

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
22年3月期第2四半期	280,943	47.9	149,384	47.9	1,558.63	1,558.63		
21年3月期	295,327	44.4	146,216	44.4	1,541.17	1,541.17		

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 134,590百万円 21年3月期 131,054百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	32.00	32.00
22年3月期	—	12.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	20.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	322,000	△4.8	20,000	△15.9	19,500	△17.4	9,000	△4.3	104.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 86,373,919株 | 21年3月期 | 86,372,339株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 21,960株 | 21年3月期 | 1,337,013株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 85,293,484株 | 21年3月期第2四半期 | 84,805,595株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に持ち直しの動きが見られるようになったものの企業収益の回復は全体的に弱く、世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念も根強かったことなどから、設備投資の大幅な減少傾向が続くなど、厳しい状況にありました。

情報サービス産業においても、日銀短観（平成21年9月調査）におけるソフトウェア投資額の当年度計画は前年度を大きく下回る水準にあり、景気動向や企業収益の厳しさを背景とする設備投資の減少傾向は当産業にも大きな影響を及ぼしております。

このような状況の中、当社グループでは、顧客の景気先行きに対する警戒感が予想以上に強く、営業状況は非常に厳しいものとなりましたが、営業提案活動の強化やプロジェクト管理の徹底を図るとともに、外注費の適正化に向けた取り組みや経費削減などに努めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高については、146,954百万円（前年同期比10.1%減）となり、利益面については、売上高減少の影響に加え、ソフトウェア開発分野における稼働率低下や提案活動の強化による営業関連費用が増加し、営業利益5,805百万円（同38.2%減）、経常利益5,792百万円（同38.9%減）、四半期純利益3,207百万円（同28.6%減）となりました。

分野別の売上高は次のとおりであります。

①アウトソーシング・ネットワーク分野

当第2四半期連結累計期間の売上高は、既存業務が安定的に推移したほか、平成20年7月に子会社化した株式会社ネクスウェイの業績も寄与したことなどから、61,623百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

②ソフトウェア開発分野

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前期中に大型案件が完了したことに加え、投資抑制の影響を受けたことなどから、70,308百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

③ソリューション分野

当第2四半期連結累計期間の売上高は、景気動向によりハードウェア需要が減退したことなどから、11,798百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

④その他の分野

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新リース会計基準の適用に伴う売上高の減少があったことなどから、3,224百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

当社グループは、IT業界のリーディング企業として確固たる地位を確立することを目指し、平成21年4月から3カ年を計画期間とする第1次中期経営計画「IT Evolution 2011」をスタートしました。

第1次中期経営計画では、既存事業の拡大・強化などとともに、海外事業の展開や新規事業の推進を重点戦略として掲げています。その実現に向けて、ネットワークITサービスのリーディングプロバイダーであるブリティッシュ・テレコミュニケーションズ・ピーエルシーと業務提携し、①ワールドワイドでのサポートによる顧客のグローバル戦略の実現、②グローバルなクラウドサービスの提供などを行ってまいります。

また、バックオフィス業務のシェアード化推進については、平成21年4月に「ITサービスフォース株式会社」を設立し、グループ全体の業務効率化、コスト削減、業務品質の向上に向けて取り組んでいます。

当社グループ全体の中長期的な戦略に基づき、株式会社エス・イー・ラボについては、平成21年6月に完全子会社化した後、平成21年7月にTISソリューションビジネス株式会社と合併し、「ネオアクシス株式会社」として新たにスタートしています。また、平成21年10月には、グループフォーメーション整備の第二段階として、株式会社インテックが株式会社インテックホールディングスを吸収合併しました。

なお、当社は本日開催の取締役会において、ソラン株式会社の株式を公開買付けにより取得することを決議いたしました。詳細については、本日開示しております「ソラン株式会社株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前期末の295,327百万円から14,384百万円減少し、280,943百万円となりました。これは主に、時価評価等による投資有価証券の増加3,478百万円などがあった一方、受取手形及び売掛金の減少15,386百万円などがあったことによるものです。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の部は、前期末の149,110百万円から17,552百万円減少し、131,558百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少7,491百万円、長期借入金の減少2,494百万円などがあったことによるものです。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、前期末の146,216百万円から3,168百万円増加し、149,384百万円となりました。これは主に、自己株式（子会社である株式会社インテックホールディングス所有の当社株式等）の処分による増加2,298百万円、時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加1,807百万円などがあったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気の先行き不透明感などから、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況にありますが、平成22年3月期通期については、グループ各社による受注活動の促進やコスト削減の徹底などにより、平成21年8月11日発表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

②棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準について、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作ソフトウェア開発から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高及び損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,025	37,524
受取手形及び売掛金	47,476	62,862
リース債権及びリース投資資産	7,646	7,274
有価証券	301	1,501
商品及び製品	2,305	2,799
仕掛品	12,790	11,579
原材料及び貯蔵品	214	234
繰延税金資産	8,215	11,075
その他	5,768	6,203
貸倒引当金	△229	△255
流動資産合計	120,513	140,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,003	53,278
機械装置及び運搬具(純額)	5,433	5,799
土地	21,925	21,925
リース資産(純額)	1,703	1,235
その他(純額)	7,938	6,809
有形固定資産合計	90,004	89,048
無形固定資産		
のれん	4,109	4,839
その他	11,038	10,162
無形固定資産合計	15,148	15,001
投資その他の資産		
投資有価証券	30,382	26,904
繰延税金資産	7,659	6,762
その他	19,994	19,489
貸倒引当金	△2,759	△2,678
投資その他の資産合計	55,276	50,477
固定資産合計	160,430	154,527
資産合計	280,943	295,327

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,135	18,626
短期借入金	21,278	22,919
1年内償還予定の社債	8,000	5,100
未払法人税等	1,579	3,390
賞与引当金	9,970	9,830
その他の引当金	72	71
その他	18,116	22,112
流動負債合計	70,153	82,051
固定負債		
社債	7,600	11,500
長期借入金	38,519	41,013
リース債務	2,964	2,549
繰延税金負債	658	682
再評価に係る繰延税金負債	993	993
退職給付引当金	8,486	8,113
役員退職慰労引当金	209	248
その他	1,972	1,958
固定負債合計	61,405	67,058
負債合計	131,558	149,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,001	10,000
資本剰余金	85,207	86,321
利益剰余金	40,671	40,186
自己株式	△56	△2,354
株主資本合計	135,823	134,153
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	689	△1,118
土地再評価差額金	△1,841	△1,841
為替換算調整勘定	△81	△139
評価・換算差額等合計	△1,233	△3,098
新株予約権	18	8
少数株主持分	14,775	15,154
純資産合計	149,384	146,216
負債純資産合計	280,943	295,327

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	163,426	146,954
売上原価	133,812	119,987
売上総利益	29,614	26,967
販売費及び一般管理費	20,213	21,162
営業利益	9,400	5,805
営業外収益		
受取利息	36	40
受取配当金	386	429
負ののれん償却額	478	44
その他	300	340
営業外収益合計	1,202	854
営業外費用		
支払利息	560	526
持分法による投資損失	40	37
創立費	110	—
その他	411	303
営業外費用合計	1,123	867
経常利益	9,479	5,792
特別利益		
投資有価証券売却益	8	20
子会社清算益	20	—
貸倒引当金戻入額	31	53
その他	29	7
特別利益合計	89	81
特別損失		
固定資産除却損	173	151
投資有価証券評価損	307	112
減損損失	—	135
その他	330	103
特別損失合計	811	502
税金等調整前四半期純利益	8,757	5,371
法人税、住民税及び事業税	2,407	1,151
法人税等調整額	1,128	722
法人税等合計	3,536	1,873
少数株主利益	729	290
四半期純利益	4,491	3,207

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。